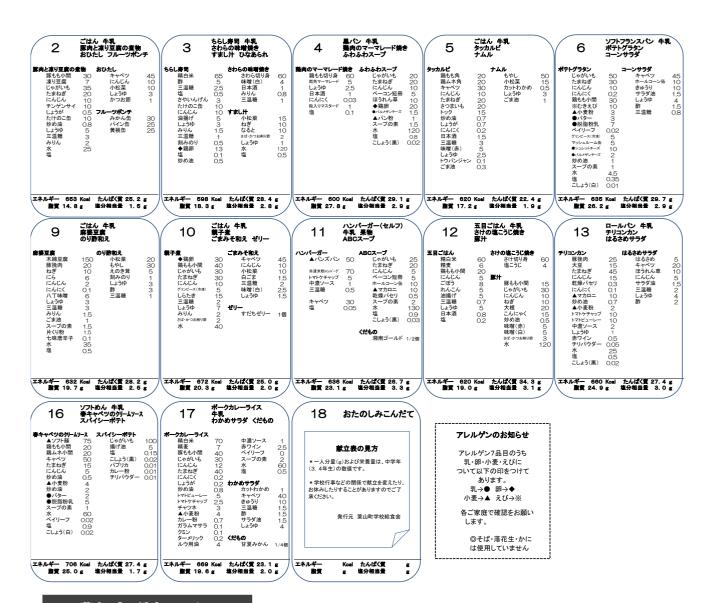
火水水

桃の節句

3月3日は、「ももの節句」とも「上巳の節句」とも呼ばれ、女の子の健やかな成長と幸せを願う日です。ひな人形を飾る風習は、室町時代頃に始まり、一般に広まったのは、明治時代以降といわれています。それまでは、厄をはらうための紙の人形だったといわれています。桃の節句につくられる行事食には、はまぐりのお吸い物やひしもち、ちらしずしなどがあります。





葉山 食で健康 コーナー

『からだがよろこぶ!減塩プログラム』

こんにちは!

葉山町役場 町民健康課管理栄養士 小林です。

『塩分・糖分・油分』は余分3兄弟とも言われています。人間の脳は、自然と余分3兄弟を「おいしい」と感じるようになっています。また、食べ慣れると「もっと」とさらに食べたくなってきます。

《食材本来のおいしさを感じる味覚を育てよう!

『味覚』と『塩分』にこんな研究結果があります。

6週間少しずつ食事に含まれる塩分量を減らしたところ、気づかずに減塩に成功したそうです。「人間はたった6週間で薄味にも慣れてしまう」らしいのです。

減塩大国イギリスでは、食塩摂取量は8年間で1,4g減少しました。「味が変わったなんて全然わからなかったよ」との声も聞こえています。今、濃い味が好きな人も徐々に減塩していけば必ず慣れるでしょう。余分3兄弟ではなく、食材本来の味を味わえる感覚を、小学生のときから育んで欲しいと願います。

